



志村第一小学校コミュニティ・スクール委員会だより

〈家庭数配付〉

令和5年5月31日

板橋区立志村第一小学校

校長 湯本 正雄

第1回 コミュニティ・スクール委員会が令和5年5月20日（土）に開催されました。今年度の委員は8名の皆様です。本校や地域等に関する情報を交換したりご意見をいただいたりして、教育活動のさらなる充実につなげてまいります。

【志村第一小学校コミュニティ・スクール委員会委員の紹介】

◎委員長 ○副委員長

- ◎ 玉田 貴紀 様 (PTA 顧問、学校開放協力会会長、学校支援地域本部地域コーディネーター)
- 大久保 直朗 様 (PTA 会長)
- 石川 三枝 様 (清水宮本睦会会長、学校防災連絡会代表)
- 山上 光男 様 (清水北町会会長、同窓会副会長)
- 大城 朝夫 様 (PTA 顧問)
- 森山 峰子 様 (主任児童委員、学校支援地域本部地域コーディネーター)
- 池野 悟 様 (元志村第一小学校校長 本校校内研究年間講師)
- 沼 俊一 様 (清水地域センター所長)

【学校長より】

- ・今年度の学校経営方針の中で、特に力を入れていきたい取組は、校内研究で磨き上げてきた「志一式 つなげタイム」の日常的な活用、読書活動の推進である。
- ・コロナ後の新しい学校生活を考えていかなければいけないと考えている。全ての取組をコロナ前に戻すのではなく、取組の目的を基に内容を精選し、教育活動を進めていく必要がある。また、変更する時期も慎重に検討していく。現在、給食は昨年度と同じく前を向いての喫食を続けている。コロナ前の向かい合って食べる形にする場合は、子どもにその意義等をしっかりと伝えるなど、丁寧な対応をしていくことが重要である。

【熟議テーマ】「コロナ後の教育活動について」

以下、コミュニティ・スクール委員会が出されたご意見です。

- ・5年生の授業では、昨年度は実施を見合わせた移動教室のキャンプファイヤーで踊るフォークダンスを学ぶ様子が見られた。子どもたちの元気で笑顔あふれる姿がよかった。
- ・マスクの着用に関しては、これからの暑さで熱中症の心配が懸念される。学年が上がると、友達の着脱状況を気にする様子があり、感染症予防以外の目的でマスクを外さない傾向にある。また、低学年の児童は、自分でマスクを外すタイミングを決められないことが多い。運動する場合は特に、熱中症防止の観点から、マスクを外すことについて指導者が伝えていく必要がある。

- ・コロナ禍で、行事等の内容等が精選されたと感じる。今、本校が取り組んでいる日頃の成果を発表するスタイルが、今後多くなっていくのではないかと考えている。
- ・「志一フェス」は復活させていきたい。学校と地域、行政のつながりを高めるために、内容を練っていく。PTAの運営の仕方や教職員の働き方改革を踏まえて準備していく。PTAの運営に関しては、「子どもたちが笑顔になる」を第一に考えていく。コロナ後の教育活動等、変化の大きな一年になると感じる。PTAの活動も含めて、内容をしっかり精査して目的からずれないように、この場で熟議していく。
- ・本校の子どもたちは、登下校時等、校外でよく挨拶している。地域との関わりだけでなく、防犯の視点からも継続して行ってほしいと思う。今後は挨拶の大切さを保護者へも啓発していきたい。
- ・教職員の異動が多かったとのことだが、本校の取組「志一式つなげタイム」が、異動者の学校で広がっていくものと考えている。幅広く広げて行ってほしい。

【各委員より】

- ・スクールガード委嘱状交付式を5月12日(金)に行った。
- ・「志一小おうえんだん」によるグリーンボランティアの活動は、引き続き充実させていく。
- ・今年度の寺子屋は、6月からの実施予定である。



公開授業の様子



コミュニティ・スクール委員会の様子

【グリーンボランティアの皆様が育ててくださっているお花】

グリーンボランティアの皆様には、夏の暑い日も冬の寒い日も、手入れや水やりにお力添え、いただいています。児童全員が毎日の登下校の際には、心を込めて育てていただいた花たちから元気ももらっています。

